

こんにちは

みささ議会です

令和5 (2023) 年

4 月号



主な内容

- 令和5年度予算の特徴 2～3
- 3月定例会・一般会計予算を可決... 4～5
- 常任委員会で慎重審査 6～7
- 議員7人が一般質問 8～15
- 議員研修会・陳情結果 16
- 議案の賛否 17
- 大好きみささ町 18

ご入園おめでとうございます

竹田保育園入園の集い(令和5年4月3日)

「温泉を活用した健康まちづ」

令和5年度一般会計予算の特徴

令和5年度は、第11次三朝町総合計画の中間点であり、これまでの取り組みを点検し、後期の取り組みにつなげていくための予算編成が行われている。

小学校施設整備については、早期の竣工に向けて引き続き予算を計上している。

ここに注目!

○温泉を活用した健康まちづくり事業の計画策定 1,125万円

三朝温泉と健康増進を連携させた仕組みを取り入れ、町民が温泉による健康効果を享受できる入浴施設を整備する。令和5年度には事業の基本計画策定と併せて、健康づくり計画も策定し、健康づくりを総合的に推進できる体制を構築する。

▶事業の想定スケジュール

令和5年度 基本計画の策定

令和6年度 基本計画の具現化に向けた実施設計

令和7年度 完成



基本構想等のワーキンググループ

○町制施行70周年で変わるみささ共働事業 245万円

- ・まちづくりシンポジウム
地域活性化のための講演、意見交換
- ・コズミックスペース in みささ
宇宙科学への興味・関心の醸成
- ・空から見る日本遺産～湯覧飛行～
ヘリコプターによるミニ観覧ツアー
- ・ロゲイニング in みささ
町の景勝地・観光地を徒歩や自転車で巡る競技



日本遺産「三徳山 三朝温泉」

【その他の特徴】

●ゼロカーボンシティみささ宣言

脱炭素社会の実現に向けた取り組みの実施

●国内・国際交流事業の展開

フランスや台湾への中学生の相互派遣

●消防団員の処遇改善

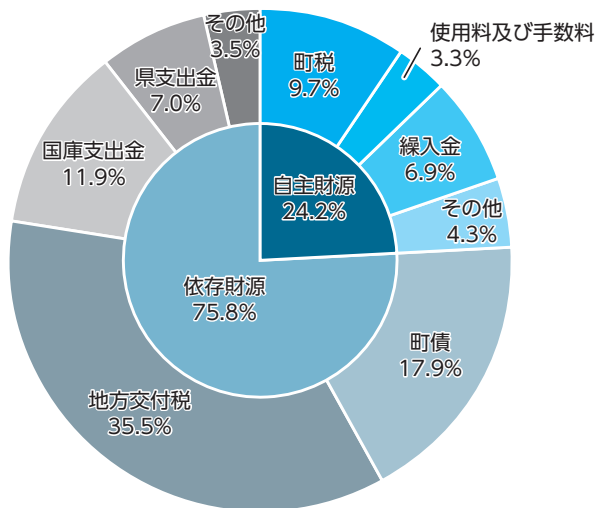
消防団員の報酬引き上げ、個人支給の実施

など

「くり事業」基本計画に着手

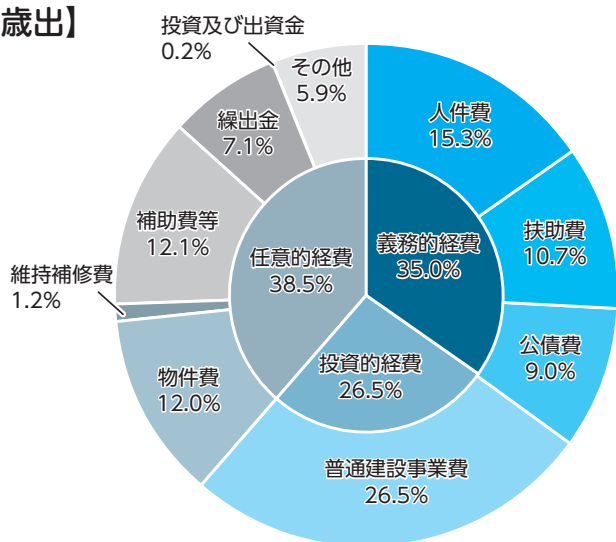
当初予算 65億7,000万円 当初予算は前年比2.5%減

【歳入】



区分	歳入内訳	(万円)
自主財源	町税	63,951
	使用料及び手数料	21,356
	繰入金	45,361
	その他	27,926
依存財源	町債	117,570
	地方交付税	233,000
	国庫支出金	78,442
	県支出金	46,218
	その他	23,176

【歳出】



区分	歳出内訳	(万円)
義務的経費	人件費	100,397
	扶助費	70,645
	公債費	58,909
投資的経費	普通建設事業費	173,826
任意の経費	物件費	78,953
	維持補修費	7,556
	補助費等	79,682
	繰出金	46,867
	投資及び出資金	1,199
	その他	38,966

令和5年2月臨時会

三朝町国民宿舎ブランナルみささの減額譲渡

ブランナルみささは、昭和38年に町営で始まり、平成29年から令和5年3月まで株式会社ジーライオンが指定管理者として管理・運営を行っていた。

協議を重ねた結果、相当な維持管理費用がかかること、コロナ等の状況によりなかなか黒字を見込みにくい経営環境であることから一定期間の宿泊事業継続などを条件に鑑定評価額から減額した2,800万円で合同会社デカンショパワー（㈱ジーライオンのグループ会社）への譲渡が決まった。

令和5年度 一般会計予算を可決

一般会計予算審査特別委員会報告

3月15日に一般会計予算審査特別委員会（松原成利委員長ほか委員3名）を開催、令和5年度一般会計予算を審査し、その結果、すべての事業を原案どおり可決すべきと決定しました。

ふるさと応援寄附金 15,500万円

意見

ふるさと納税の実績は、県内でも下位である。令和5年度納税額の1億5千万円は目標としては低い。もっと目標額を大きくすべきである。そのために、県内でも大きな実績を上げている市町の状況を学び、検討すべきではないか。

回答

過去の最高額は1億3千万円程度（返礼品が50%の時代）であった。目標値は、それを越える数値として設定した。

寄附額を増やすために、県内・全国の実績のある自治体の周知・PR方法を参考にしていきたい。その一つとしてふるさと納税の自動販売機設置に取り組む。



ふるさと納税パンフレット

三朝温泉誘客促進事業 688万円

意見

誘客には、SNS等でのお客さんの生の声による情報発信力を高めることが効果的である。例えば、インフルエンサーの誘致などを積極的に行い、誘客に努めるべきではないか。

回答

今年の誘客促進事業では、情報発信の強化に取り組むこととしている。SNS等の活用、メディア取材の誘致を含めて、引き続き進めていきたい。観光協会、旅館組合の取り組み状況を見ながら適切な助言に努めていきたい。

移住定住促進事業 1,496万円

意見

子育て世代、若年層に魅力のある施策を進めるべきと考える。長期的に住んで三朝町の良さを体験してもらう「お試し住宅」の取り組みは良い施策である。県内に成功例がある市町を参考とし、町として施策を工夫するべきではないか。

回答

お試し住宅については研究を進めていきたい。移住者の住環境の整備等と並行し、町民の理解・協力を得ながら取り組みを進めたい。

子育て・定住・婚活支援事業 144万円

意見

婚活事業については、ふるさと広域連合に委託しているが、町の実績はあがっていない。町独自の取り組みとして、例えば仲人みたいな人に婚活事業を委託するなど積極的に行うべきではないか。

回答

結婚については、個人の考え、意思による部分が非常に大きく、行政ができることは、出会いの場を創出する取り組みが中心となっている。意見を参考に、受けの姿勢ではなく、地域協議会なども連携しながら呼びかけを行い、問題解決に向け努力していきたい。

町制70周年記念関連事業 1,031万円

意見

町制70周年記念に関する事業予算は、事業ごとに各課で組まれており、全体でトータルすると1,000万円を超える額となっているが、これだけの経費をかける必要性はあるのか。

回答

今回は「共動」を記念事業のテーマの一つとし、コロナ禍が明けようとするタイミングでもあり、新たな行動で変化を起こすという気持ち、町民の皆さんにも動いてもらう事業として進めていきたい。経費節減に努めながら、効率よく目的達成に努めていきたい。

温泉を活用した健康まちづくり事業 1,125万円

意見

3月末には「たまわりの湯」が廃止され、町民が三朝温泉を気軽に利用できる施設の建設は急がれる。検討委員には、観光関係団体のトップではなく若い世代に参画してもらい、町民が気軽に利用できる温泉施設の実現に向け、早急に検討を進めるべきではないか。

回答

令和4年度のワーキンググループ会議には、若い世代や女性の委員も参画し、それらの様々な視点からの意見をいただき、基本構想の素案を作成している。町民の方が気軽に利用できる温泉施設の実現に向けて、スケジュールどおり実施できるように一つ一つ着実に進めていきたい。

消防団員報酬 1,222万円

意見

消防団員の報酬等の処遇改善は進められているが、一方では、人口減少は消防団にも影響が出ている。消防団の組織再編について、現在の検討状況はどのようになっているか説明を求める。

回答

再編の内容は、分団を現在の13分団から7分団への再編、団員不足で活動が維持できない班の統合、本部員の配置数の段階的な縮小、地区団の機動性を確保するために新たな機動班設置を検討する。

町営住宅改修事業 3,854万円

意見

徳本団地の長寿命化について年次的に改修を進めているが、徳本団地全体として建物が古く限界が来ているのではないかと。建て替えも含めた思い切った方向転換が必要ではないか。徳本団地に限らず、町営住宅全般について、今後の方針をどのように考えているのか。

回答

徳本団地は、使用料が安価で入居希望者が多いので、入居者の状況を踏まえてもう少し現在の建物を活用したい。恋谷団地は、入居者が少ない状況が続いているので、令和5年度には入居者へ聞き取りを実施し、3棟のうち1棟の取り壊しを検討していく。



徳本団地

人権教育推進員設置事業 320万円

意見

ここ何年も人権教育推進員がいない状況が続いている。この状況では、人権教育に力を入れているとは言えない。不在になっている推進員を一刻も早く配置し、人権教育の活性化を図っていくべきである。

回答

人権教育推進員は、平成10年から配置をしているが、不在の時期があった。人権教育の活性化のためにも推進員の設置は必要である。現在交渉中の方にしっかりお願いし、また公募等も視野に入れながら、早期の配置に向け、努力したい。

付帯意見

予算審査特別委員会として、事業全般に対して次の意見を付け加えました。

○議案第6号 令和5年度三朝町一般会計予算の執行については、9月議会時点での進捗状況の報告を求めることとする。

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

不登校児童生徒の補助金、卒業の認定について

問 不登校の児童生徒の学校以外の施設に通う補助金は、中部管内の教育施設に行くことを想定しているのか。

卒業の認定はどうなるのか。

答 フリースクールは鳥取県内に4ヶ所あり、中部は北栄町にある。そこを利用する児童生徒に対して補助を行っている。フリースクールの利用日数等は毎月在籍校に報告がある。学校長はそれを受けて出席扱いとし、町内の在籍学校の卒業が認定される。

いじめ問題調査委員会について

問 倉吉市だったら入学する中学校を選べるが、三朝町は小学校から持ち上げりのため、中学校でも尾を引くことになる。調査委員会の立ち上げが遅いのでは。

答 設置にあたっての委嘱の手続きと並行して学校でも調査を行っている。弁護士、児童相談所、中学校校長、人権擁護委員の4名の日程調整が難しかったため調査委員会が3月3日となった。

学校給食費の改訂について

問 物価上昇により、給食費が小学校は14円、中学校は17円値上がりするということだが、値上がり分は、町が負担することはできないのか。

答 生活困窮者への支援は引き続き行いたい。財源には限りがあるため、ICTの整備や支援員の配置等により教育環境を充実させる等、他の子育て支援対策を重点に取り組んだ方が効果的と判断し、給食費の補助ではなく、別の支援策を考えていく。

庁舎の電気設備の浸水対策について

問 災害時に備えての庁舎の電気設備はどこに移転する計画なのか。浸水対策がきちんとしてられているのか。

答 屋上を検討したが、重量的に難しく、庁舎1階でできるだけ高いところと考えている。場所はまだ確定していない。浸水対策に最大の努力をして、かさ上げ等を行いたい。

出産・子育て応援ギフトについて

問 三朝町では出産・子育て応援交付金事業で出産・子育て応援ギフトが各5万円支給される。一度に10万円を支払う町もあるが、同じ形ではできないのか。

答 国の補助制度により、10万円を2回に分けた支給方法になる。妊娠時に面談をして出産準備のための5万円を支給し、出産後にも赤ちゃん訪問で面談をして子育て支援の5万円を支給する。相談支援と経済的な支援を合わせた事業である。一度に10万円を支給する町は、その町独自の制度で行っていると思われる。

ブランナールみささの立体駐車場について

問 ブランナールみささの立体駐車場の屋上は、観光駐車場として利用されていたが、今後はそのような利用はできないのか。

答 立体駐車場も含めて譲渡するため、近隣の観光駐車場としては、依山楼岩崎とブランナールみささの間の駐車場のみとなる。



立体駐車場（ブランナールみささ）

産業民生常任委員会

市内DX推進事業について

問 デジタルトランスフォーメーションの推進となっているが、市内では全く進んでいないということか。

答 いくつかのデジタル機器の導入により業務の効率化に努めているところだが、さらに有効に使いこなし業務改革を進めるため先進事例など研究していきたい。

Jクレジット推進事業について

問 具体的にどんな内容で行っていくのか。

答 第一段階として、本町で間伐等を実施することで森林のCO₂吸収量の増加につながる事業計画を立案し、国に承認を求める手続きを行っていききたい。



間伐整備された森林



指定管理者委託施設（健康むら、バイオリン美術館、賀茂保育園）

指定管理者評価の公表について

問 三朝バイオリン美術館など指定管理者の評価について、ホームページ等で町民にも公表すべきでないか。

答 指定管理者の評価については、適正に実施しているところだが、外部への公表は行っていない。ご意見を踏まえ他の自治体の例も参考にしながら検討していきたい。

岡山大学の温泉アンケート結果について

問 昨年、岡山大学が町民に対して温泉アンケートを実施されたが、その結果はどうなっているのか。

答 岡山大学からは、アンケートの分析を終え論文を投稿中のため、報告はもう少し待っていただきたいとの報告があった。

住民ネットワーク光化見守り事業

問 昨年、実証事業として行った高齢者の見守り事業であるが有料で実施するということが。

答 システム利用料等は利用者負担となる。実証事業の利用者からは概ね好評であり料金が適切なら利用したいという意見が多数だったことから有料設定させていただいた。

三朝神倉大豆の振興について

問 開発プロジェクトではどのようなことが検討されているのか。

答 新商品の開発で味噌が出来上がったが、そのほか醤油やフリーズドライの味噌にしてお土産物にならないかなど検討している。また、販売に関して県内だけでなく関西など人口の多いエリアでの商談を考えている。

町内事業所の現地視察を行いました

三朝町片柴にある株式会社三朝製作所の新工場が完成したことから、事業所を訪問し現地で新工場の概要説明を受けました。

自動車部品のギアを製造する最新鋭の機器が並べられている様子は圧巻でした。従業員の3分の1程度が町内者ということであり、これからの企業の発展が期待されます。



ギアの実物を確認する様子

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

7人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
9	1 交通弱者の投票機会の確保と小中学生から政治に関心を	吉村美穂子
10	1 消防団員の処遇改善について 2 教育長の3期目に対する抱負について	河村 明浩
11	1 生活を支える施設の相次ぐ閉鎖について	松原 成利
12	1 小学校新校舎建設を移住定住施策の起爆剤に	小椋 泰志
13	1 元気な町づくり	遠藤勝太郎
14	1 温泉を活用した健康まちづくり事業について 2 少子化対策の見直しについて	山口 博
15	1 消防団アンケート調査結果について	森 貴美子

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

選挙政治

問 交通弱者の投票機会の確保、子ども議会で政治に関心を

答 本町に合った方式で検討する、子ども議会は十分な学習成果が上がらない

過疎化、高齢化となる将来を見据え、移動期日前投票カーを巡回しては

吉村

令和4年3月現在、49の自治体が、移動期日前投票カーの実施を行っている。島根県浜田市では平成28年から移動投票カーを実施し、投票所までの交通手段を持たない有権者に喜ばれている。本町でも移動投票カーを巡回させてはどうか。

選挙管理委員会委員長

投票日当日に公用車による送迎を行っているが、利用者が減少している。車の乗り降りが困難な方は、UVタクシーによる送迎もある。移動投票カーは、二重投票の対策、荒天時の対応、人員の確保などの課題がある。

吉村

浜田市では公用車を利用し、初回の32万円ほどの経費は国費で、その後は人件費を含め12万円程度と、人手も経費も削減できている。二重投票の回避、荒天時はブルーシートなどで対応している。車にはスロープを付け、投票所が来てくれることで、交通弱者、高齢者は助かっている。



移動期日前投票所（島根県浜田市）

選挙管理委員会委員長

ほかの自治体などの状況を研究しながら本町に合った方式を検討する。

吉村

将来、危惧される投票所の統廃合に向けても検討していただきたい。

子ども議会を行うことで政治に関心をもって貰えるのではないかと

吉村

昨年11月、中学生による三朝町の未来を語る会が開催され、8つのグループが町に対する意見や要望を発表した。これらの提案を、子ども議会という形にすることで政治に関心を持って貰えるのではないかと。

教育長

小学6年生を対象に子ども夢議会を10年間続けてきた。代表による質問であるため、十分な学習成果が上がらない。みささっ子教育ビジョンの基本目標に基づき、小中連携教育における主権者教育を検討した結果、中3の時期に、一人一人が考えるワークショップの形で行うことにした。



吉村美穂子 議員

吉村

町づくりの提案が、三朝の未来を考える上で参考になる内容なので、要望や質問を町長とやりとりする議会方式で、町民にも公開すれば、町づくりと政治に関心を持って貰えるのではないかと。

教育長

中学校3年生の子どもたちが、グループで分かれて、様々な意見を言い合うことに学習成果があると思う。コロナ禍でもあり、制限した中での発表となったので、町民の方には掲示という形で成果を発表した。今しばらく様子を見ていただきたい。



中学生による三朝町の未来を語る会

防 災

問 消防団員の処遇改善が必要 では

答 報酬等の増額と直接支給をする

消防団アンケート調査の結果を今後

河村

アンケート結果は、町ホームページにも掲載され、団員だけでなく一般の方も今後の対応について関心があったと思うが。

町長

消防団が抱える課題が読み取れた。生活スタイルが多様化し、価値観が大きく変わった。消防団長とは、若者の変化を踏まえて団員確保や団運営の在り方を改善する時期にあると認識を共有した。

報酬や出動費の増額は

河村

報酬や出動費は30年以上ほとんど改正されていない。消防団は

防災には重要な組織であり、活動の危険性を考えれば増額すべきでは。

町長

財源が交付税措置されることになり、今議会で国の基準以上に引き上げる条例改正を提案している。

報酬等の支払い方法の見直しを

河村

団員及び各班の団結と共同を向上させるためにも支払方法の見直しが必要では。

町長

国の基準に従い、消防団の理解により、団員へは直接支給し、各班の活動費は交付金として支給する。



河村 明浩 議員

団員確保を

河村

若い団員の確保が困難になっているが、女性団員も少なくなっている。女性の力も消防団に必要なだと考えるが。

町長

女性団員も大事な存在なので、消防団も努力している。PR方法を団と協議して、団員確保に努めたい。



町操法大会

教 育

問 教育長3期目の抱負は

答 教育大改革への展開を

3期目の抱負は

河村

2期6年の経験を生かしての3期目への思いは。

町長

社会の大きな変化に対応すべく教育大改革が行われようとしている。学校教育では、国の方針を踏まえ、子どもたちが自らの知恵を生み出し、地域の力と特徴を生かした教育活動を展開していき、自ら成長できるよう支援に努めたい。また、人を人として大切にすると人権教育を柱に、社会教育分野の見直しも必要と考えている。

学校現場の反応は

河村

コロナ禍で国際交流事業が行えなかったが、交流の再開は。

教育長

コロナの状況や国際情勢を慎重に判断し、関係者の皆さんと協議しながら最善策を考えたい。

河村

盛んになるICT教育に対応できる機器の整備を進めることが必要では。

教育長

今後加速するデジタルトランスフォーメーションへの対応が求められている。機器の刷新・更新にはご協力願いたい。

河村

マスク着用の要否決定に子どもたちの意見を尊重しては。

教育長

学校医に指導を受けながら、医学的知見に基づく対応を行い、感染防止に努めたい。

生活

問 生活を支える施設の相次ぐ閉鎖への対応は

答 難しい立地条件だが方向模索する

生活関連施設の閉鎖発表が相次いでいるが

松原

新型コロナウイルス感染症も影響が大きいかと思うが、日常生活や地域振興に重要な役割を果たしてきた施設の閉鎖発表が相次ぎ、末端地域が切捨てられるようで、虚しさや納得し難い思いである。

町長

町民生活や、なりわいを支える重要基盤であり、あって当たり前のような感覚もあった。利用者を与える影響は相当なものだと考えている。

松原

事業主と利用者間での協議ではあるが、本町も実態把握や提言等の対応をすべき。

町長

持続可能なまちづくりを進めるには、皆さんと連携を保って一緒によい方向を探りたい。



JA ポプラ三徳店とたまわりの湯

ライフライン店舗は存続が望まれる

松原

J A 鳥取中央は赤字経営のため、ライフライン店舗として運営する町内の J A ポプラ三徳店と竹田生活センターを含むすべてを9月末日閉店と発表したが、小売店舗が無くなる三徳小鹿、竹田方面には不便が生じると思われる。

町長

人口減少や高齢化、買物ニーズの多様化で、これまでも閉店や縮小の議論を経てきており、住民生活に不便を来すと思われるが、移動販売や新しい手法も含めた対策が必要。

松原

地域協議会を中心に協議が始まっているが、地域振興の観点から役場も担当職員の配置等すべき。

町長

買物弱者といわれる方の状況を把握しながら、町として課題の解決に努力したい。

たまわりの湯の代替施設や町民優遇措置を

松原

NPOみささ温泉が運営するたまわりの湯は、老朽化で度重なる不具合対応ができず3月末日営業終了とのことだが、利用者の不便だけでなく入居店舗も立ち退きの状況である。



松原 成利 議員

町長

毎年多額の修繕費がかかる中で当地エリアに民間事業構想があり、将来活性化を勘案した結果と思う。進めている健康まちづくり事業の温泉施設整備には想定がなかった。

松原

温泉施設整備は、早期実現に期待する一方で、当面は町内利用者の優遇策も検討すべき。

町長

不便をかけるが、お風呂が有る施設に代替利用のご協力を仰ぐなど対策を検討したい。

再編が農業振興に逆行しないように

松原

J A 中央サービスは農機・自動車事業改革で、三朝の農機センターを湯梨浜に、自動車事業を中央自動車センターに統合と発表した。民間の事業方針ではあるが農業振興に逆行させないよう、農林行政の目で提言を行うべき。

町長

J A から農家には、迅速な対応に向けてのサービスカー導入巡回などが周知されているが、影響がないとは言えず、続けて要請はしていきたい。

**問 充実した教育環境のアピールで
子育て世代の移住定住促進を**

答 魅力ある教育プランと移住定住支援の拡充で推進していく

新校舎建設にあたりどんな教育を目指していくのか

小椋

新校舎建設により質の高い教育環境が提供されるにあたり教育長はどんな教育を目指していくのか。

教育長

小中学校9年間の学びと育ちを支える小中連携教育を策定し、現在取組んでいる。ふるさとキャリア教育、ICT活用教育、英語教育など小中学校が連携した教育活動に努めていくほか、小学校新校舎が中学校敷地内にできることで、フランス・台湾との国際理解教育がさらに進展すると期待している。

小中一貫校または義務教育学校への取組みは

小椋

小中連携教育の次の段階として小中一貫や義務教育学校への取組みは考えていないか。

教育長

小中連携を進めていく中で、時代の要請やその時点でのタイミングなどで皆さんと協議して進めていくものだと考えている。



建設が進む小学校新校舎

**教育環境の充実を切り口に
移住定住の促進を図るべき**

小椋

ハード・ソフト両面での教育環境の充実を呼び水にして、子育て世代への支援内容の充実を図り県内外からの移住定住に繋げていくべきではないか。

町長

充実した教育施設や教育内容は、移住定住を考えている子育て世代にとって大きな魅力になると思っている。小中連携教育の具体化を示しながら教育プランの魅力を紹介し、子育て世代へアピールしていきたい。

移住定住者向けの「お試し住宅」ができないか

小椋

移住前の不安を少しでもなくし、三朝町の良さを十分に理解してもらうためにも「お試し住宅」のような施設を町で設置すべきではないか。

町長

とても大事なことで、取り組んでみたいと考えている。せっかくなら1年間くらいの利用期間があってもいいかもしれない。今後いろいろな意見を聞いていきたい。



小椋 泰志 議員



子育て世代の移住定住促進を

移住定住促進のため、専門員の配置をしてはどうか

小椋

移住定住に取り組む町のマンパワーが不足していると考えがどうか。

町長

移住定住を専門の部署で行うのも一つの方法であるが、地域おこし協力隊とそこに関わるセクションが中心となって、今のようなチーム体系で進めていきたいと考えている。

子育て世代への移住定住の積極的な呼びかけを

小椋

移住定住は町の総合力が試される。少子化対策の一つとして子育て世代への移住定住の積極的な呼びかけを期待したい。

町長

教育をベースにした移住定住の推進は非常に重要なポイントだと思っている。先進事例も参考にしながら子育て世代への移住定住を推進していきたい。

問 温泉施設の建設はいつ、どこに

答 令和7年完成、温泉配湯が可能な地域に



遠藤勝太郎 議員

今年が町政70周年の節目である。町の現況は人口減少には歯止めが効かない状況である。新型コロナウイルス感染症も5月8日から2類から5類にランクが下げられ、3年間の長きに渡ったコロナ対策から解放され、今後の活性化に向けた事業展開が期待される。

町民対象の温泉施設の建設について

遠藤

3月末に「たわまりの湯」の閉鎖が決まり、町民が気軽に利用できる施設が減少した。温泉施設の早期実現を望むところだが、いつ、どこに建設するのか。

町長

スケジュールとしては、令和5年に基本計画の策定、令和6年に施設の実施設設計を行った後、着工、令和7年度中に完成と考えている。場所は現時点では未定だが、温泉配湯が可能な地域に限られる。

現代湯治について

遠藤

三朝温泉病院とタイアップした現代湯治は新型コロナウイルス感染症のため、事業が中止されている。三朝温泉を元気にするには、訪れる客を増やすことが必要で、世界一のラドン含有を誇る三朝温泉のホルミシス効果をもっとPRして、「日本遺産の温泉で温泉治療」といったキャッチフレーズで誘客をすべきではないか。

町長

現代湯治は10年以上前から取り組み、古くからある湯治を現在のニーズに合わせたスタイルで提案し、六感治癒をテーマに行っている。誘客のためには、日本遺産のブランドを活用しながら、いろんな手段を講じて、活性化につなげるべく展開していきたい。

人口減少に歯止めを

遠藤

本町は年間20人程度の出生数で推移していて、このままでは「消滅する町」になる。岡山県奈義町は、徹底した子育て支援を展開し、出生率日本一となった。魅力ある町づくりを進め、移住定住はもとより、未婚の人を減らすことも出生率向上につながると思うが。

町長

人口減少に歯止めをかけるには、結婚対策や移住定住対策、子育て支援、教育環境の充実など様々な対策が必要で、若い人のニーズを捉えた施策が求められる。結婚対策は非常に難しいが、交流の機会を増やすといった地道なことは必要だと感じている。

農業維持は可能か

遠藤

J Aは、令和5年6月を目途に三朝自動車農機センターの閉鎖を打ち出した。これは農家にとって大きな痛手である。次はライスセンターが閉鎖するのではないかと心配している。やはり町長の力は大きい。J Aとパイプも太くして、組合長にものを言える町長になって欲しいと思うが。

町長

状況を把握しながら、農家の支障にならないようにJ Aに対して要請していきたい。J Aと常に情報交換を行うこと、いろんなつながりも持てるよう努力したい。



三朝自動車農機センター

問 温泉活用施設の早急な建設を

答 令和7年度の完成を目指す

「たまわりの湯」閉鎖後の新温泉施設建設は急を要する

山口

たまわりの湯は3月末に閉鎖が決まっており、新温泉施設完成は急を要する。確実な計画実行を。

町長

令和5年度に基本計画を策定し、令和6年度に実施設計、令和7年度完成を目指している。

町長

民間資金活用のPFIやBTO方式は、手続きに多くの時間を要すること、事業規模が10億円以上などの条件があるので、それより有利な過疎債や補助金を使うこととしたい。また、運営については地元の力を活用したい。

他市町の類似施設を参考に

山口

県外、県内に温泉施設とフィットネス施設を併せた先進例があるので是非見学、参考にしたい。

建設に民間資金活用（PFI・BTO方式）を検討しては

山口

財政的に厳しい現状では建設に民間資金活用のPFIやBTO方式を検討してはどうか。

問 奈義町や邑南町の少子化対策に学んでは

答 本町の既存少子化対策の問題点を点検

岡山県奈義町の出生率は2.95、三朝町の出生率は1.04

山口

三朝町と同規模の岡山県奈義町が出生率2.95を実現している。多くの少子化施策は三朝町と重なるが、何が違うのか徹底的に見直すことが必要だ。

町長

成果において大きな差があることを真摯に受け止め、原因について情報収集を進め、改善に向けて取り組みたい。

子育てに特化した基金の創設を

山口

奈義町では子育てに特化した基金があるとのこと。三朝町も基金を創設しては。

町長

事業実施には財源的裏付けが必要であり、基金とか毎年一定の額の予算を確保するなどの対応が必要と思う。



山口 博 議員

町長

大分県竹田市の例や近場の施設を視察しており、それらを参考に計画したい。



3月末で閉鎖の「たまわりの湯」

官民そろっての子育て支援の取り組みが必要

山口

奈義町の成功は、官民協力の諸施策で受け入れ環境を整えたことにある。

町長

奈義町では子育て支援の取り組みが町民を巻き込んで進めており、そのような空気をどの様にすれば出来るのか改めて検証し、今後の施策を考えたい。



三朝町子育て支援センター

防
災

問 消防団員が改善提案等をスムーズに言えるような運営に

答 消防団の活性化に努めていきたい

アンケート調査結果から見える課題

森

処遇改善や操法大会の在り方等について、今後、どの様に改善していくのか。

町長

町の消防団長と情報交換し理解を深めてきている。処遇改善も含め、団の中で風通しの良い運営が図られることに期待している。

操法大会は、団員の訓練期間を短縮したり、大会当日の出場時間を事前に周知して時間の拘束を緩和する等、負担軽減を図る努力がされている。

森

今回のアンケート調査のような気軽に意見を述べるができる場合は、消防団の改善にもつながると思うが、今回のアンケート調査を今後も継続できないか。

町長

アンケートで意見を吸い上げることも大事なことだが、例えば地区団ごとのワークショップを開催したり、年に1回は、消防団員が意見交換をする場を設けることも大事ではないかと思う。消防団の幹部と意見交換しながら活性化に努めていきたい。

地域密着型の防災対策を

森

岡山県総社市では、地域住民数名で主体的に重機操作の資格を取得し、有事の際には、自分たちで作業できるようにしている。町でも総社市の活動を参考に、消防団を中心に地域密着型の体制で活動ができないか。

町長

町の場合でも、一昨年の7月豪雨の際に、集落の中にそのような人がおられ、総社市のような体制も必要ではないかという意見があった。実際にされたところもある。消防団においても、今後一つの学ぶべきところと考える。

森

若者の成り手不足、過疎化、高齢化に伴い、消防団員の抱える負担を町民一人ひとりが一緒になって背負うことも考えていかなければならない。



森 貴美子 議員

消防団員と共に防災意識を高めるために、地域集落の消火活動を充実させてはどうか。

町長

まず、消防団の活動を理解していただき、火事などの原因を起さない、消防団員だけで手に負えない時は地域の方にできる範囲での協力をしてもらえたら良い。

集落での訓練については、消防団も当然協力する体制でいる。一緒になって防災意識を高めながら、取り組みを行うことで、若い方にも自分たちの役割等を認識していただけたらと思う。今後、続けて努力をしていきたい。

三朝町消防団
アンケート調査結果報告

令和5年1月
三朝町消防団・三朝町総務課危機管理局

三朝町消防団アンケート調査結果報告

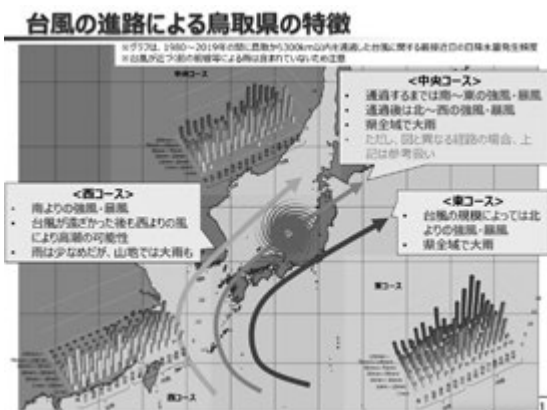
三朝町議会議員研修会

鳥取地方気象台・防災管理官の村上和彦氏を講師として、「気象と災害について」をテーマに議員研修会を令和5年3月16日（木）に開催しました。研修会の内容は下記のとおりです。

1. 地球温暖化の影響

日本の年平均気温が100年あたり1.26℃上昇しており、降水日数は減少傾向であるが、非常に激しい雨や大雨の頻度が増加している。

2. 台風の進路による鳥取県の特徴



研修会資料

3. 自然災害から身を守るために

気象庁が提供する防災気象情報によって、市町村と住民が危険度の高まる時間帯と場所を把握し、納得感をもって避難指示等の発令や避難開始を判断する。



研修を終えて・・・

鳥取県の気象特性から起こりうる災害のメカニズムや防災気象情報の活用方法等の研修したことを活かし、町と共に本町の災害リスク軽減に努めたい。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会	採択 意見書提出	現在の保育環境に適した保育士配置基準の見直しが必要。人材確保に向けた保育士等の処遇改善も併せて行うべき。
日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	コドソラ	趣旨採択	子どもたちの安全確保は必要である。米軍基地の移転、基地周辺の安全対策は、国のレベルで対応すべき課題である。
国による学校給食無償化を求める陳情	新日本婦人の会 鳥取県本部	趣旨採択	子育て世帯への財政支援は必要であるが、食事は基本的には個人が負担すべきもの。国が完全無償化を行うとき、県や町への財政負担がかかることを懸念する。
「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対鳥取県共同センター	趣旨採択	防衛費の財政負担を国民へ強いることには問題がある。現在の世界情勢から判断すると、自衛隊の防衛力拡充についての検討は必要。
防衛費の増大でなく、抜本的な物価高騰対策や医療・福祉・教育・年金の充実を求める意見書提出の陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす三朝町民の会	趣旨採択	物価高騰対策や医療・福祉・教育・年金の充実と防衛力の充実を一つの問題として取り扱うことではない。別々に考えるべき課題である。
消費税インボイス制度の中止を求める意見書提出の陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす三朝町民の会	趣旨採択	中小企業・小規模事業者にとって、消費税の2重払い解消や税の控除等は有益であるが、事務負担軽減、支援制度については検討すべき。
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会	趣旨採択	日本の食料自給率の向上のため、農家への財政的な支援は必要であるが、貿易においては輸出入のバランスの面から輸入等で許容しなければならない部分もある。
安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす三朝町民の会	趣旨採択	軍事力の強化を理由とした国民負担増への反対と社会保障費や教育予算の充実を一つの問題として取り扱うことではない。別々に考える課題である。

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	
(1月臨時会)													
町長提出議案名													
1	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
2	三朝町工場立地法地域準則条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
3	賀茂保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
4	三朝町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
(2月臨時会)													
町長提出議案名													
5	財産の減額譲渡について（三朝町国民宿舎プランナールみささ）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
(3月定例会)													
町長提出議案名													
6	令和5年度三朝町一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
7～14	令和5年度三朝町特別会計予算（8件）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
15	三朝町個人情報の保護に関する法律施行条例の設定について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
16	三朝町情報公開条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
17	三朝町情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
18	三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
19	三朝町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
20	三朝町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
21	三朝町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
22	三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
23	個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
24	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
25	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
26～32	令和4年度三朝町特別会計補正予算（7件）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
33	三朝町行政組織条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案名													
議1	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
議2	三朝町議会の個人情報の保護に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
議3	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

私が好きな三朝町の風景

私が好きな三朝町の風景は、みんなが笑顔で温泉につかっている風景です。私が町内にある温泉施設へ入浴に行った時、そこにいた人みんながとても笑顔だったのが印象的だったからです。小さな子どもから高齢者の方々まで、みんなニコニコして本当に良い表情でした。私のまわりでも温泉に入るのを楽しみにしている方が多いです、テレビ番組などで温泉に入った観光客の方も温泉を絶賛されています。そのたびに、私は町民としてとても嬉しく、ぜひまた来てほしいなと思います。



三朝中学校2年
別所 優衣

笑顔があふれる三朝町は自然も豊かで大きな事件もなく、とても平和です。これからも、三朝町の良さを発見し、広く情報を発信し、郷土を大切にしていきたいです。そして、これからも「私は三朝町民だ」と自慢できる町にしていきたいと思います。

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

6月定例会の日程予定（案）

会期 6月7日～6月15日
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- 町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- 町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- 議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 吉田 道明
編集 長 吉田 道明
議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村 美穂子
委員 河村 明浩

野球WBC世界大会で日本が優勝した。昨年のサッカーWCでの日本選手の活躍も素晴らしかった。私たちに深い感動を与えてくれた。観戦された方は、どのような感想を持たれただろうか。私は、この二つの大会に幾つか共通点を感じた。
①どちらのチームも監督・コーチが人格的にも素晴らしい人だった。
②ベテラン選手が若手選手をサポートし、風通しの良い空気感。
このチームづくりを三朝町の町づくり参考にできないだろうか。
ちよつと想像してみた。監督・コーチの役を町長や各団体・集落の長（おさ）が努める。年長者は、若手をサポートし、思う存分活躍できる場を作る。
甘い夢物語かもしれないが、本気で目指す価値はある。
（森 貴美子 記）

